

# **健康いわて 21 プラン(第2次)**

## **(中間案)**

(仮) 健康いわて 21 プラン (第 2 次)      目 次

<b>第 1 章 計画に関する基本的事項</b> . . . . .	1
1 健康いわて 21 プラン (第 2 次) 策定の経緯 . . . . .	2
2 健康いわて 21 プラン (第 2 次) 策定の趣旨 . . . . .	2
3 健康いわて 21 プラン (第 2 次) の期間 . . . . .	2
4 健康いわて 21 プラン (第 2 次) の性格 . . . . .	3
5 計画の推進 . . . . .	4
 <b>第 2 章 本県の人口等の現状</b> . . . . .	7
1 人口構造・動態 . . . . .	8
2 平均寿命・健康寿命・要介護認定者 . . . . .	13
3 健康いわて 21 プランの最終評価 . . . . .	16
 <b>第 3 章 目指す姿と基本的な方向</b> . . . . .	37
1 目指す姿 . . . . .	38
(1) 目指す姿 . . . . .	38
(2) 全体目標 . . . . .	38
2 基本的な方向 . . . . .	40
(1) 脳卒中死亡率ワースト 1 からの脱却 . . . . .	40
(2) 主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 . . . . .	41
(3) 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び口腔の健康 に関する生活習慣及び社会環境の改善 . . . . .	41
(4) 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上 . . . . .	41
(5) 健康を支え、守るための社会環境の整備 . . . . .	42
(6) 東日本大震災津波後の健康づくり . . . . .	42
 <b>第 4 章 基本的な方向を実現するための取組と目標</b> . . . . .	45
1 主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 . . . . .	46
(1) がん . . . . .	46
(2) 脳卒中 (脳血管疾患)・心疾患 . . . . .	52
(3) 糖尿病 . . . . .	60
(4) COPD . . . . .	63
2 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び口腔の健康に 関する生活習慣及び社会環境の改善 . . . . .	65
(1) 栄養・食生活 . . . . .	65
(2) 身体活動・運動 . . . . .	70
(3) 休養 . . . . .	75
(4) 飲酒 . . . . .	77
(5) 喫煙 . . . . .	80
(6) 口腔の健康 . . . . .	85

3	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上	93
(1)	こころの健康	93
(2)	次世代の健康	96
(3)	高齢者の健康	101
4	健康を支え、守るための社会環境の整備	104
5	東日本大震災津波後の健康づくり	108
<b>第5章</b>	<b>計画の評価</b>	<b>115</b>
1	計画の評価及び見直し	116
2	進捗状況及び評価結果の公表	116
3	数値目標及び設定の考え方	116
<b>第6章</b>	<b>保健医療圏別計画</b>	
1	盛岡保健医療圏	
2	岩手中部保健医療圏	
3	奥州保健医療圏	
4	両磐保健医療圏	
5	気仙保健医療圏	
6	釜石保健医療圏	
7	宮古保健医療圏	
8	久慈保健医療圏	
9	二戸保健医療圏	



## 第1章 計画に関する基本的事項

## 1 健康いわて21プラン（第2次）策定の経緯

### （1）健康いわて21プラン

- 本県では、国において平成12年3月に策定された「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を踏まえ、「岩手に生まれ、生活できる喜びを実感できる健康安心・福祉社会」を実現するため、壮年期の死亡の減少、健康寿命の延伸及び生活の質や人生の質（QOL）の向上を目指して、具体的な目標と達成のための指針を示しながら、県民に向けて、健康づくりを働きかけるため、平成13年3月に「健康いわて21プラン」を策定しました。

### （2）中間評価及び到達度・活動状況評価、最終評価

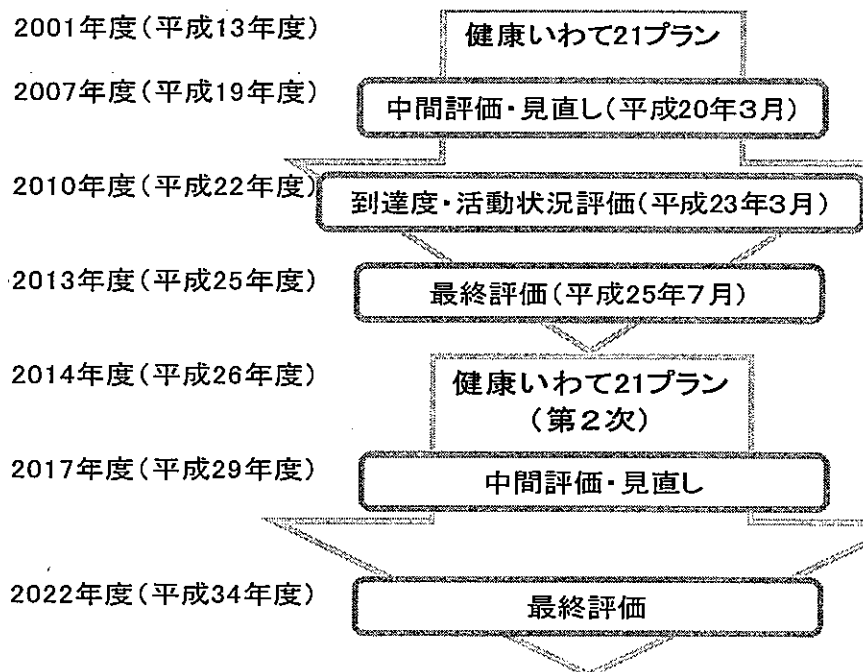
- プラン策定後、健康増進法や食育基本法、生活習慣病予防を重視した医療制度改革関連法の制定のほか、メタボリックシンドロームの概念を導入した健康づくりなどの健康づくりを取り巻く状況の変化を踏まえるとともに、平成17～18年度に実施した中間評価に基づき、平成20年3月にプランの改定を行い、推進期間を平成24年度まで延長しました。
- また、平成22年度には、当初の推進期間であった平成22年度時点での目標の到達度と健康づくりサポーターの活動状況評価を行い、県民の健康課題などを明らかにしました。
- さらに、平成23年度には、東日本大震災津波の本県への影響を踏まえ、推進期間を1年延長し、平成25年度までとするとともに、平成25年度に目標値の最終評価を行いました。

## 2 健康いわて21プラン（第2次）策定の趣旨

- 県民が生涯を通じて心身ともに健康で質の高い生活を送るためには、正しい生活習慣を身に付け、生活習慣病の発症予防や重症化予防、社会生活を営むために必要な機能の維持向上に努めていくことが重要です。
- しかし、個人の健康は、家庭や学校、地域、職場等の社会環境の影響を受けることから、社会全体として個人の健康を支え、守る環境の整備が求められます。
- したがって、このプランは、県民一人ひとりが取り組むべき健康課題を明らかにするとともに、県民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的な事項を示し、行政や関係機関団体、企業等の社会全体が健康づくりサポーターとして県民の健康を支援し、もって、県民の健康寿命の延伸を図ることを目的として策定するものです。

## 3 健康いわて21プラン（第2次）の期間

- 2014年度（平成26年度）を初年次とし、2022年度（平成34年度）を目標年次とする9か年計画とします。
- また、中間評価を計画期間の中間年に当たる2017年度（平成29年度）に行います。



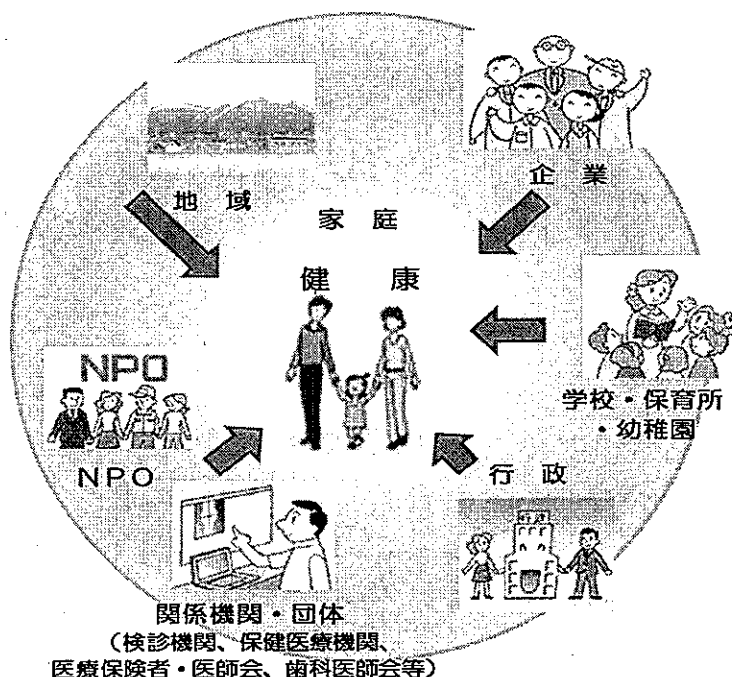
#### 4 健康いわて21プラン（第2次）の性格

- このプランは、県民一人ひとりが自らの健康状態を正しく理解し、主体的に健康づくりに取り組むための行動指針です。
- このプランは、「希望郷いわて」の実現を目指す「いわて県民計画」の健康づくり分野における領域計画です。
- このプランは、健康増進法（平成14年法律第103号）第8条において都道府県が定められている、県民の健康増進の推進に関する施策についての基本的な計画です。
- このプランは、次に掲げる法定計画をはじめとする関連施策に関する計画と調和を保ちながら、県民の健康づくりを推進する計画です。
  - ・ 岩手県保健医療計画（岩手県医療費適正化計画）
  - ・ 第2次岩手県がん対策推進計画
  - ・ いわていきいきプラン2014（岩手県高齢者保健福祉計画、岩手県介護保険事業支援計画）
  - ・ いわて子どもプラン（次世代育成対策推進法（平成15年法律第120号）による岩手県行動計画）
  - ・ 岩手県自殺対策アクションプラン
  - ・ 岩手県食育推進計画
  - ・ 岩手県東日本大震災津波復興計画
  - ・ 岩手の教育振興
  - ・ イー歯トープ8020プラン（岩手県口腔の健康づくり推進計画）
  - ・ 岩手県肝炎対策計画（第2期計画）
  - ・ 第12次労働災害防止計画

## 5 計画の推進

- 施策を着実に推進するため、あらかじめ数値目標を設定し、いわゆる“PDCAサイクル”（計画（Plan）－実行（Do）－評価（Check）－改善（Action））を取り入れながら、計画の進行管理を行います。
- プランの推進に当たっては、県、市町村をはじめとして、県民や事業者等の多様な主体による一体となった取組が必要です。このため、岩手県健康いわて 21 プラン推進協議会等の場を通じて、県民の意向を反映させるとともに、家庭、地域、NPO、企業、学校、幼稚園、保育所、自治体、医療保険者、検診機関、保健医療機関・産業保健機関や医師会・歯科医師会などを、県民の健康づくりの支援者（健康づくりサポーター）として位置づけ、これら健康づくりサポーターと連携を図りながら県民一人ひとりの健康を実現するための支援を推進します。

（図1） 個人と健康づくりサポーターの関係図



### 【県の推進体制】

- ・ 岩手県健康いわて 21 プラン推進協議会において、定期的にプランの点検、見直しを行い、これを施策に反映するなどし、実効性のある施策を展開します。
- ・ 健康いわて 21 プラン推進会議において、県庁内の関係部局との相互に緊密な連携のもと、関連施策の整合性を確保しつつ、総合的、計画的に施策を推進します。
- ・ 地域計画について、各保健医療圏（保健所）に設置する保健医療圏協議会等において、地域の健康課題を明確にしながら管内市町村や関係団体等との調整を行い、課題の解決に努めます。

### 【市町村の推進体制】

- ・ 市町村においては、関係する行政部門間の連携・調整体制を確保し、県との連携のもと、地域住民に密着した健康づくり計画の見直しと、それに基づく施策を積極的に推進していくことが求められます。



【健康づくりサポーターが相互に連携した推進体制】

- ・ 地域の実情に即した効果的かつ着実な健康づくりがなされるよう、健康づくりサポーターはそれぞれが自主的な取組を進めるとともに、相互に連携を図りながら一体的な健康づくりを推進する体制の整備に努めます。

〈連携を図っていく健康づくりサポーター〉

○ 教育機関

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学など

○ 医療保険者

市町村、岩手県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会（協会けんぽ）など

○ 職域（企業等）

商店、会社、協同組合、（一社）岩手県食品衛生協会、岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会、（公財）岩手県労働基準協会、日本労働組合総連合会岩手県連合会、岩手県産業保健推進センターなど

○ 関係団体等

・ 職能団体

（一社）岩手県医師会、（一社）岩手県歯科医師会、（一社）岩手県薬剤師会、（公社）岩手県看護協会、（公社）岩手県栄養士会、（一社）岩手県歯科衛生士会など

・ 検診機関

（公財）岩手県予防医学協会、（公財）岩手県対がん協会

・ 地域の健康づくりの推進に関する団体

岩手県保健推進委員等代表者協議会、岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会、NPO法人日本健康運動指導士会、NPO法人岩手県地域婦人団体協議会、岩手県老人クラブ連合会、岩手県学校保健会、（一社）岩手県PTA連合会など

（図2）健康いわて21プランの推進体制

